



お び む す

# 帯結びは 3分で

クリップ1本、かんたん付け帯

帯結びの悩みから解放

## 必要なもの

帯(袋帯または名古屋帯)、帯枕  
帯揚げ、帯締め、ダブル・クリップ1(5cm巾)  
洗濯はさみ(大)4





1

たれを左にして、お太鼓の出したい位置を決めます。帯の端から140cmくらいがお太鼓の上の位置の目安です。出したい柄が決まりましたら、洗濯はさみなどで目印をしてください。



2

そのまま裏返して、洗濯はさみの位置から手先の方へ30cmの長さを(帯枕とクリップ2個分の長さ)取り、色系などで印をおきます。





3

糸印の位置から手先まで二つに折ります。胴回りの部分です。



4

帯を時計回りに90度廻してください。二つ折りにした手先の方を下にして折り返します。手先分(約36cm)を左に出しておきます。





5

写真の、両手で持っている部分の中央をクリップで留めてください。留めやすいように全体を両手で持って折り返します。



6

クリップで全部をはさみます。このクリップ1本で帯の形を整えますから、中央にゆがみなどないように留めます。





7

クリップの手の位置まで折り返します。余分のたるみが無いように。



8

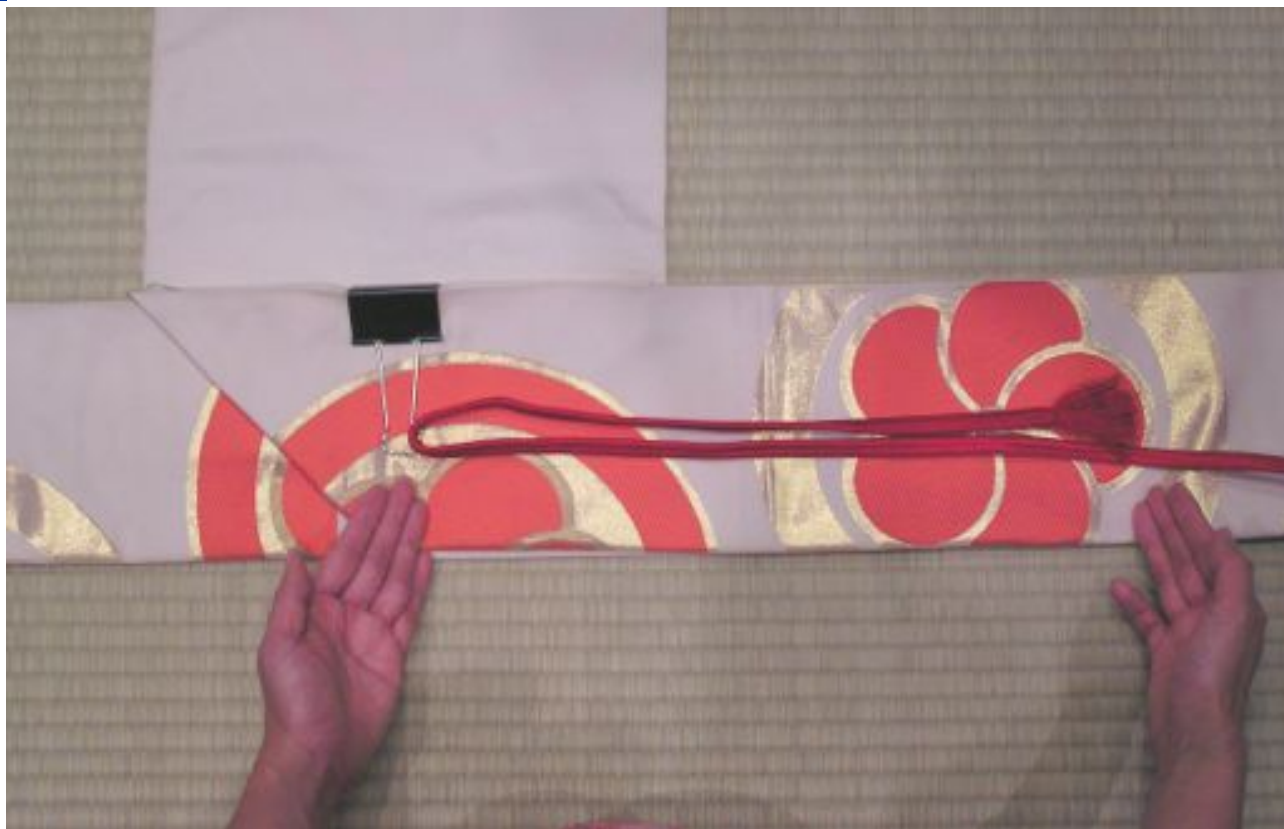
5の位置に戻します。このクリップの上に帯枕を乗せるようにします。ゆがみなどないよう、点検しましょう。





9

前が出る柄を確かめます。ウエストの半分の長さが前の柄の中心になります。帯締めなどで測れます。柄位置の調整は、クリップの所で少し挟みこんで調整できます。



10

お太鼓の部分を上に重ね、たれの長さを胴回りの線の下に出します。界切り線がほぼの目安です。人差し指の長さでも測れます。





11

帯揚げで帯枕をくるみ、帯の下のクリップの上に乗せます。クリップが大きく、挟む力もしっかりしていますから形がくずれません。



12

お太鼓の形を作ります。余った分を中に折り返します。





13

お太鼓の形を作ります。少し張りがあるくらいが引き締まった良い形になるようです。



14

手先を折り返します。お太鼓と二枚目を三枚目の間を通します。







**15** 手先を通してお太鼓の形が出来ました。左右のバランスなどお好みの形に出来たでしょうか？



**16** 先ほど通した手先の上に帯締めを通します。





17

帯締を通したら、中央を確かめて、たれを上に戻し、洗濯はさみで固定します。  
帯締めは洗濯はさみにかかるように少し下目がいいでしょう。



18

胸回りとお太鼓の交点も仮留めします。お太鼓の全部をはさんでもいいでしょう。  
左側も仮留めしますと形が崩れにくいです。





19

お太鼓を背負います。お太鼓は少し上に持ち上げて背負う感覚でうまくいくようです。前で帯揚げを仮に結んで固定します。



20

胴回りの端が輪になっています。その輪に指をかけ、お太鼓の下にまわします。右手で輪に指をかけ、左手でお太鼓の端を持って引っ張り、胴回りを締めます。





21

そのまま手を滑らせる様にして帯締めを持ち、前で結びます。



22

帯締めを締めたあと、もう一度胴回りを締めなおします。





23

洗濯はさみをはずし、たれを下に下ろし、お太鼓の形を点検します。何回か練習なさいますと、最初の設計のように締められるようになります。



「帯結びは3分で」

構成・作成： 御きもの処 たきち

御きもの処 **たきち**

〒177-0042 東京都練馬区下石神井2-36-24  
電話/FAX: 03-3997-9121  
www.takichi-tokyo.com